

今年もヤクルトホールにて開催！

平成30年3月1日(木)・2日(金)



第23回

～世界結核デー記念～

国際結核セミナー

テーマ

分子疫学を利用した結核対策

＜平成30年3月1日(木) 13:30～18:10＞

近年、医学臨床や公衆衛生対策の指針の策定にあたって、エビデンスを重視する考え方が強くなっており、そのための研究の充実が求められています。今年度は分子疫学の新しい手法を用いた結核対策に焦点を当て、ドイツ、ボステル研究センターから、抗酸菌国家標準検査部副部長のステファン・ニーマン先生をお招きし、分子疫学的手法を用いて明らかになったヨーロッパにおける多剤耐性結核の伝播に関して特別講演をお願いしました。

シンポジウムでは、接触者健診や結核集団発生における分子疫学的手法の活用及び今後について報告をいただく予定です。

平成29年度 全国結核対策推進会議



テーマ

2020年の目標に向かって～罹患率10以下を目指した対策の推進～

＜平成30年3月2日(金) 9:15～15:15＞

平成28年11月に結核に関する特定感染症予防指針が改定され、2020年の低まん延国化を目指した国の結核対策の方向性が決まりました。本邦の結核罹患率は2016年には既に人口10万人あたり13.9人と、低まん延国（人口10万人あたり10人未満）目前となっておりますが、2020年までにこれを達成するためには、患者発見と治療完遂と基本とした通常の結核対策に加え、結核感染者の発病予防を目的とした潜在性結核感染症(LTBI)治療のさらなる推進が肝要です。本会議では、結核対策に関連した最近の動きの他、「LTBI治療の普及をめざして」をテーマにしたシンポジウムを開催したいと考えております。

参加費は各¥6,000(税込)です。
詳細は、改めて掲載いたします。

